



工学研究科長
工学部長

湯上 浩雄

日本語は、欧米の言語と比べて性別で異なる言葉が多いと聞いたことがあります。このような背景も男女共同参画が進まない一つの原因かもしれません。しかし、工学という普遍的な学問の世界では性差は全くありません。共に学び豊かな人生・社会を創りましょう。工学研究科執行部に初の女性教員が参画します。工学研究科はALicEの活動を全面的に支援します。



環境科学研究科長

土屋 範芳

私は石を研究しています。石は何もしゃべりませんが、こちらが語りかけると(分析したり、実験したりすると)、いろいろなことをたくさん教えてくれます。環境の変遷、地球の歴史... やっぱり科学はおもしろいです。研究は楽しいです。勇気を出して一歩踏み出してみましょう。科学はいつも門戸を開いています。きっと道は開けます。環境科学は皆さんを待っています。



情報科学研究科長

加藤 寧

Society 5.0では人工知能(AI)やロボットの力を借りてこれまでの現実空間に仮想空間を融合させ人々の暮らしを豊かにする未来社会を目指しています。情報科学はAI、IoT、データ数理、ロボットなどの先端技術にとどまらず、文理融合のアプローチにより様々なグローバル課題にも挑戦しています。より多くの女性研究者が活躍できるようにALicEの活動を全力でサポートします。



医工学研究科長

永富 良一

社会は一人では成り立ちません。多様性があるからこそ成り立ちます。ひとりひとりが得意なところを生かして、得意でないところを助けあいながら生きていけるのが当たり前の社会になってしかるべきです。未来の医療を工学の力でデザインするためにはさまざまな異なる経験をしてきた皆さんの「気づき」が不可欠です。医工学研究科はALicEの活動を全面的にサポートします。



ALicEキャラクター ずんだぬき

青葉山に生息するずんだ(枝豆)色のたぬき。お口は工学部の「工」、おなかの模様は東北大学のロゴにも使われている「萩」。工学や科学技術に興味津々ため!

※東北大学工学系とは、東北大学大学院工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科、医工学研究科、災害科学国際研究所、未来科学技術共同センター、環境保全センター及び国際集積エレクトロニクス研究開発センターの総称です。

東北大学工学系 女性研究者育成支援推進室

ALicE



世界で活躍する

女性研究者になる



Association of
Leading Women
Researchers
in Engineering



東北大学工学系女性研究者育成支援推進室

Association of Leading Women Researchers in Engineering

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉6-6 東北大学工学研究科・工学部 総務課総務係内
TEL 022-795-5040 MAIL eng_alice@grp.tohoku.ac.jp WEB <https://alice.eng.tohoku.ac.jp/>

ALicEwebサイト





東北大学工学系では

真に豊かな社会の実現のために

多様性を尊重しています

皆さんは、工学をどのような学問だと考えますか？

工学は、より良い社会をつくるための縁の下の力持ちの学問だと私は考えています。また、社会は常に変化しています。この変化していく社会の中で、常に「こんな世界なら良いなあ」という夢や希望を持って過ごすことが大事です。この夢や希望を持つことが、より良い社会の実現につながり、工学はその夢や希望をかなえることを助けてくれます。

さらに真に豊かな社会の実現のためには、皆さんそれぞれの視点が大事であり、多様性を尊重することが重要です。

東北大学工学系女性研究者育成支援推進室(ALicE)では、女性が工学分野で安心してキャリアを継続できる社会の実現を目指して活動しています。

東北大学工学系で、共に学び、共に成長し、共に活躍することを期待しております。



ALicE 室長

田中 真美

医工学研究科/工学研究科 教授

活動目的 Purpose

工学分野の女性の活躍を応援

工学分野において女性が安心してキャリアを継続できる社会の実現を目指して活動しています。工学系女性の育成支援、男女共同参画意識の醸成、キャリア継続への意識の向上に取り組んでいます。



活動実績 Activities



平成28年度女性のチャレンジ支援賞(内閣府)を受賞

学内にとどまらない工学系女性研究者の研究環境整備として評価されました。



女性のチャレンジ賞

女性のチャレンジ支援賞

各種活動にチャレンジして輝いている女性や、それを支援する団体・グループを顕彰することでチャレンジの身近なモデルを示し、男女共同参画社会の実現のための機運を高めることを目的として、内閣府男女共同参画局が実施している表彰です。





女性研究者の見える化・工学魅力の発信



科学体験プログラム

科学の知識を深め身近に感じてもらえるよう、小中学生向け科学体験プログラムを開催しています。また、女子中高生向けに、研究室を訪問してさまざまな分野の研究を実際に見て触って体験することができる研究室見学会も開催しています。



女子中高生のためのミニフォーラム

オープンキャンパスにて女性教員と企業で活躍する卒業生、女子学生が講演を行うミニフォーラムを開催しています。講義、クロストークのほか、懇談会(質問会)も設けております。奮ってご参加ください。

参加者の声

◆「具体的に入学後の生活や、勉強の内容がイメージでき、大学生活への期待が高まりました。大学や工学部の特徴を知れて視野が広がりました。選択肢を広げるためにも勉強を頑張りたいと思います。」(秋田県 高校生)

◆「オンラインは不安でしたが、とても安心して参加できました。」(宮城県 高校生)
◆「理学部も工学部も同じような学部があっただけでしたが、私は工学部で研究したいと思いました。」(埼玉県 高校生)



女性研究者や育児期の研究者の紹介

工学の魅力を広く知っていただけるよう、女子高等学校を中心に出張講義(オンライン可)を行っています。また、ニュースレター、ホームページ、SNSにおいて工学系女性研究者の紹介もしています。



研究と育児・介護との両立支援



託児室・静養室

工学系に所属する教職員と学生が、研究教育・就学のために必要な一時保育スペース(託児室)と、体調不良や搾乳の際に利用可能な静養室が整備されています。子を同伴しての打ち合わせや学会一時保育の場としても利用されています。

infomation

託児室に関するお問い合わせ
TEL 022-795-4619/5040 eng_alice@grp.tohoku.ac.jp



工学系ベビーシッター利用料等補助

育児を行う工学系研究者(男女問わず)を対象に、育児と研究の両立のために必要なベビーシッターや一時託児の利用料を補助します。申請時期は9月と2月の年2回。申請書類はHPよりダウンロード可能です。

infomation

ベビーシッター利用料等補助の申請
<https://alice.eng.tohoku.ac.jp/ompatibility>

研究支援要員派遣

研究時間の確保が困難な研究者を支援し、研究と育児・介護の両立や社会貢献を維持・促進することを目的として、研究支援要員(事務補佐員)を派遣しています。3月に募集を行います。

参加者の声

「ついつい後回しになってしまいう事務仕事をきばきと片付けて頂き大変助かっています。気持ちにも余裕ができて、家のことにも頭が回せるようになりました。」



工学分野における女性リーダーの育成



STEP-ALICEプログラム

工学系女性教員に対して、学会参加や共同研究打ち合わせ、研修等に関する出張経費の一部を助成しています。申請時期は5月と10月の年2回。支援額の上限は、海外旅費20万円、国内旅費8万円。申請書類はHPよりダウンロード可能です。

参加者の声

◆「今後も、海外に出て経験と実績を重ね、働く女性の道をさらに開いていきたいです。また、次世代の方々にもぜひおしえていただき、働く女性研究者が出張しやすい環境をともに整えて行けたら嬉しいです。」

◆「若い研究者にとって早期に国際的なネットワークを構築できることは自身の研究の展開に非常に大きな効果を与えると思うので、本プログラムを活用し積極的に国際会議へ参加し、自分の研究を試す経験をしてほしいです。」



セミナー・交流会

工学系に所属する女性研究者と女子学生を対象に、スキルアップ・キャリア育成を目的としたセミナーや交流会を開催しています。

参加者の声

◆「結婚や出産・育児など、女性としての人生の分岐点において将来考えるであろうことを直接経験者から聞くことができて良かったです。」

◆「先輩方の話を聞いてあまり心配し過ぎず、自分がやりたいことを一生懸命やった方がよいと思えて、将来に対する不安が和らぎました。」



女性教員の積極的採用への取り組み



女性教員の積極的採用と上位職への登用を応援しています。研究室や託児室、女性静養室などの環境整備を行い、女性教員が安心して研究できるよう取り組んでいます。



情報共有による問題解決

情報提供・情報共有

情報提供・情報共有を目的として、工学系女子学生・女性研究者のためのメーリングリストを運用しています。保育情報や研究助成等の公募情報、各種イベント情報を配信しています。

メール配信のお問い合わせ
eng_alice@grp.tohoku.ac.jp

- 研究費や海外渡航旅費の公募情報
- 保育所やベビーシッターなどの情報
- 学内外のイベント・シンポジウム情報
- 各種支援制度について詳しい説明

おはなし窓口

女子学生・女性研究者に関する相談や問い合わせを男女問わず受け付けています。

おはなし窓口(ALiCe)
TEL 022-795-5040
eng_alice@grp.tohoku.ac.jp

その他の相談窓口

- 1 学生支援室
- 2 カウンセリングルーム
- 3 ハラスメント相談窓口
- 4 男女共同参画相談窓口

Q&A

工学はどんな学問ですか?

工学は生活や社会をより良くするための学問で、科学技術のちからで新しいものを作り、課題解決に取り組みます。社会に役立つものづくりを行うため、社会のお医者さんとも言われます。

実験が夜までかかる場合は?

青葉山キャンパス内には仙台市営地下鉄「青葉山駅」があり、便利です。さらに、工学部同窓会の女子学生支援があり、深夜帰宅時にタクシー利用もできます。

研究と家庭、どちらも両立できますか?

研究と育児の両立を目的としたベビーシッター利用料等補助や、研究支援要員派遣といった支援を行っています。また、学会等で一時託児に利用可能なスペースもあります。

数字で見る工学系女子学生

工学系在籍の女子学生比率



工学部卒業後の進路(女子)



工学研究科修士課程修了後の進路(女子)

